

令和3年度 事業報告書

I 事業概要

当センターは、八尾市の国際化と多文化共生社会の実現に向け、市民、産業界、行政、国際交流団体等のご理解とご支援を頂きながら、外国人支援活動や異文化理解事業を積極的に進めてまいりました。

令和3年度は、前年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、八尾市生涯学習センターが約2か月間の休館（4月26日～6月20日）となり、また実施できた事業についても、参加人数を制限しながらの開催となりました。

主要事業では、市の委託による上海市嘉定区との交流事業及び海外民族音楽・舞踊団との交流が前年度に続き中止となりましたが、小中学生による多言語スピーチコンテスト、映画上映会、市民交流会等を実施し、対面による日本語交流や外国にルーツをもつ子どもの支援「SALA」については、感染対策を講じながら継続いたしました。さらに、新たな手法として、海外の大学（日本語学科）の学生との交流や、ボランティア研修会等の一部をオンラインにより実施いたしました。

また、八尾市外国人相談窓口では、行政機関やサテライト窓口との連携のもと、様々な相談への対応を行うとともに、外国人市民のニーズに合わせた情報媒体を活用し、ワクチン接種や給付金をはじめとする行政情報、他の国際交流団体等が行う相談支援等の情報提供に努めました。さらに、令和4年4月から、活動拠点である八尾市生涯学習センターが、改修工事により約4か月間の休館となるため、この間の事業継続に向け、八尾市にも協力を求めながら準備を進めたところであります。

II 理事会・評議員会

1. 理事会

回数	開催日	案 件	備 考
第1回	令和3年5月26日 (決議の省略)	議案第1号 令和2年度事業報告及び決算 承認の件	原案可決
		議案第2号 理事推薦の件	原案可決
		議案第3号 評議員会開催の件	原案可決
第2回	令和4年3月2日	議案第4号 令和3年度第1号収支補正予算 承認の件	原案可決
		議案第5号 令和4年度事業計画及び収支予算 承認の件	原案可決
		議案第6号 令和4年度資金調達及び設備投資 の見込みの件	原案可決

2. 評議員会

回数	開催日	案 件	備考
第1回	令和3年6月10日 (決議の省略)	議案第1号 令和2年度決算承認の件	原案可決
		議案第2号 理事選任の件	原案可決

III 事業の実施状況

公1 多文化共生推進事業

1. 人物交流をはじめとする国際交流を促進する事業

事業を通じて、外国人住民が孤立することなく共生できるよう地域での交流を深める。ボランティアの自主活動を促進するとともに、市内に住む外国人住民にもボランティア活動を通じて地域活動に参加してもらうことを目的としている。

(1) ボランティアの登録（2年更新）

ボランティア登録者数 257人（令和4年3月末）
（前年度末 212人）

（延べ数）

分野	令和3年度	令和2年度
日本語交流	185人	160人
SALA	47人	36人
ホームステイ・ビジット	24家庭	23家庭
語学	48人	40人
イベントの企画・運営	48人	35人
各種紹介・交流	43人	34人
災害時ボランティア	60人	51人

(2) 各種文化紹介

ダーカウ交流会

日 時 10月10日（日）

第1回目 午前10時～正午

場 所 太陽の広場（八尾市緑ヶ丘5丁目）

内 容 重りのついた羽を足で蹴り合うベトナムの遊び「ダーカウ」を紹介し交流した。

参加人数 11人

(3) 市民と在住外国人等との交流会

Y I Cで世界旅行

日 時	11月14日(日) 第1回目 午後1時～午後3時 第2回目 午後3時～午後5時
場 所	八尾市生涯学習センター・中研修室(2) / 美術室 / ミーティングルーム
内 容	ボランティア実行委員等が中心となり、中国・フィリピン・メキシコの観光地や伝統文化・食文化について紹介した。また、参加者は、各国の伝統的なダンスやコマまわし等の体験を通して交流を行った。

国 名	交 流 内 容
フィリピン共和国	ボホール島の楽しみ方とバンブーダンス
中華人民共和国	四川省の世界遺産と中国ゴマ
メキシコ合衆国	フォルクローレと「死者の日」の祭り

参加人数 53人

2. 海外諸都市との国際親善及び交流事業

世界各地の文化や八尾・大阪・日本の文化を紹介し、相互理解に努める。異なる文化を知るだけでなく、人と人とのつながりを再確認し、地域社会を見つめ直すきっかけづくりとする。

(1) 国際親善及び海外文化紹介

ア. OSAKA IN THE WORLD マダガスカル編

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

イ. 世界とつながる！オンライン交流（新規事業）

日 時	8月28日(土) 午前10時～正午
交 流 先	ハロン大学・日本語学科（ベトナム社会主義共和国）
内 容	オンラインでハロン大学の学生が大学のあるクアンニン省の動画や大学の様子を紹介し、クイズや質問など会話を通して参加者同士の交流を行った。
参 加 者	59人

ウ. オンラインおしゃべり交流会（全5回）

日 時	12月19日、26日、1月9日、16日、23日（各日曜日） 午前10時～午前11時
交 流 先	ハロン大学・日本語学科（ベトナム社会主義共和国）
内 容	「世界とつながる！オンライン交流」の参加者の意見を参考に、より多くの会話ができ、また、継続的な交流につながる機会を設けた。
参 加 者	9人

(2) 八尾市都市間交流事業（市からの受託事業：八尾市青少年交流団派遣事業）

八尾市が主催する上海市嘉定区との青少年交流事業の中止に伴い、不実施となった。

3. 国際教育を推進する事業

多文化共生社会に向けた取り組みとして、「異文化理解」をキーワードに地球市民としての人材育成の必要性を伝えていく。

(1) 国際理解セミナー

ア. 第79回 映画上映会「世界の果ての通学路」

日 時 1月30日(日)
 第1回 午前11時～午後12時30分(吹き替え)
 第2回 午後2時～午後3時30分(字幕)
 場 所 八尾市生涯学習センター・大会議室
 参加人数 45人

イ. 第80回 VOICE～外国にルーツのある私の想い～ Vol. 3

【講師の都合により中止】

日 時 3月20日(日) 午後2時30分～午後4時

(2) 国際教育プログラム

ア. 総合学習発表会での審査

学 校 名 大阪府立八尾北高等学校
 日 時 5月6日(木) 午前8時30分～午後12時30分
 内 容 ソーシャルデザインワーク「リサーチデイ」の多文化共生についてのプレゼンテーション発表会での審査を務めた。
 派 遣 当センター職員

イ. 多文化保育プログラム(新規事業)

ガーナ共和国の文化について、音楽や衣装、スライド写真を通して紹介し、幼児期から異文化に触れることで国際意識の芽生えにつなげられるよう市内こども園等でワークショップを行った。

日 時	園 名	対象 園児	参加 園児数	講 師
2月24日(木) 午前10時～ 午前11時	認定こども園 のぞみの森保育園	4・5歳	52人	ダーリントン ティカス イブラヒム (ガーナ共和国出身)
3月4日(金) 午前10時～ 午前11時	市立 安中ひかりこども園	5歳	59人	
3月11日(金) 午前10時30分～ 午前11時30分	八尾ソレイユ 認定こども園	5歳	35人	

(3) Y I C多文化教室

講 座 名	日 時	講師	受講 者数	参加費	場 所
①メキシコ伝統舞踊 Folkloric Dance (全5回)	7月4日～8月8日 各日曜日 午前10時～午前11時30分	最少開催人数に満たなかったため中止			
②英語落語(全5回)	1月23日～2月20日 各日曜日 午前10時～午前11時30分	小夜姫	14人	4,700円	八尾市生涯学習センター 中研修室(1)

(4) 第12回 Y I C多言語スピーチコンテスト

日 時 8月29日(日) 午後1時30分～午後4時30分
場 所 八尾市生涯学習センター・大会議室
テ ー マ 「願いがひとつ叶うなら」
出 場 者

第1部 英語部門		小学生の部	中学生の部
	応募者数	4人	10人
出場者数	4人	10人	
入賞者数	2人	3人	
第2部 多言語部門		小学生の部	中学生の部
	応募者数	7人	2人
	出場者数	7人	2人
入賞者数	2人	1人	

参加人数 86人(前年度 中止)

(5) ボランティアの育成及び支援

サークル活動

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から7月まで中止】

①歌おう♪日本語サークル

日 時 通年 毎月 第3日曜日 午後12時15分～午後1時45分
場 所 八尾市生涯学習センター・大研修室／陶芸室
内 容 歌詞に出てくる言葉やその歌の意味をやさしい日本語で学習し、
音楽を通して参加者同士の交流を深めた。
開 催 数 8回
参加人数 延べ82人(前年度 延べ49人)

②韓国語サークル“へバラギ”

日 時 通年 毎月 第1日曜日 午後2時～午後3時
第3木曜日 午後7時～午後8時
場 所 八尾市生涯学習センター・小研修室
内 容 韓国語の短いフレーズを紹介し、韓国語や文化の学習を通して
交流した。
開 催 数 8回
参加人数 延べ12人(前年度 延べ14人)

4. 市内に居住又は滞在する外国人への支援事業

同じ文化背景をもつ人たちの情報交換の場、母語による生活情報の提供など在住・滞在外国人が安心して自立した生活が送れるよう支援する。

(1) 日本語交流

ア. 日本語交流

①日本語交流

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月中旬まで対面での交流中止】

日 時 通年 午前9時～午後5時 木曜日 午前9時～午後9時
場 所 八尾市生涯学習センター・小研修室／中研修室／大研修室
内 容 外国人住民の不安を少しでも軽減できるよう日本語学習支援を通して互いの文化に理解を深めた。なお、希望者にはオンラインでの交流を実施した。

実 績 90組 / 16カ国 (令和4年3月末日現在)
(前年度末 108組 / 13カ国)

②説明会及び交流会

・日本語交流ボランティア“プチ”説明会

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月23日の開催を延期】

日 時 7月11日(日) 午前11時～正午
場 所 八尾市生涯学習センター・小研修室
内 容 日本語交流の活動紹介と見学
参加人数 2人

・日本語交流ボランティア「集まる会」

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】

③第20回 話そー！日本語

日 時 3月6日(日) 午後1時～午後3時
場 所 八尾市生涯学習センター・大会議室
内 容 日本語交流学習者が日本語でそれぞれの想いを発表した。
テ ー マ 発表者が自由に決めたテーマ
出場者数 8人 (前年度 19人)
参加者数 36人 (前年度 46人)

イ. ボランティア研修会 ～日本語ボランティア～

【新型コロナウイルスまん延防止等重点措置のため一部日程を変更して開催】

場 所 八尾市生涯学習センター・大研修室 / 視聴覚室
内 容 日本語交流のボランティア活動で役立つ知識を学習した。
参加費 500円(1回)・当センターボランティアは無料
参加人数 延べ142人(前年度 延べ129人)

	日 時	テ ー マ	講 師	参加人数
入門編 (全7回)	6月6日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分 (オンライン)	多文化共生社会と日本語 ボランティアへの期待 ～外国人とともにつくる 地域の未来～	田村 太郎 ([一財]ダイバー シティ研究所)	16人

入門編 (全7回)	6月27日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	日本語の文法を知ろう ～ちょっと知っておくと 便利な文法～	福井 武司 (神戸YWCA学院)	13人
	7月3日(土) 午後2時30分～ 午後4時30分	日本語の文のしくみを知ろう ～初級文型ってなに?～	矢谷 久美子 (日本語教育支援グル ープ「ことのは」)	13人
	7月4日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	日本語の文字学習について	野村 麻里 (〔一財〕海外産業 人材育成協会)	17人
	7月11日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	中級レベルの学習者との 会話活動	斎藤 明子 (日本語学校)	19人
	7月17日(土) 午後2時30分～ 午後4時30分	日本語がほとんど話せない 学習者とおしゃべり活動	森 篤嗣 (京都外国語大学)	20人
	7月18日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	対話形式のボランティア活動	福井 武司	16人
発展編 (全2回)	1月23日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	話すことが楽しくなるために ～学習者の雑談力アップの 手助けをしよう!～	西郷 英樹 (関西外国語大学)	15人
	3月19日(日) 午後2時30分～ 午後4時30分	伝わる発音 ～日本語の発音の特徴を とらえる～	道本 佳邦 (〔公財〕京都日本語 教育センター)	13人

ウ. 日本語学習テキストの作製

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月12日、1月17日の会議を中止】

日 時 12月12日(日) 午後1時30分～午後4時30分

場 所 八尾市生涯学習センター・小研修室(3)

内 容 八尾市民に馴染みのある事柄を題材とした当センターオリジナル
日本語教材の内容について作製ボランティアと会議を行った。

アドバイザー 澤田 幸子(あおぞら日本語サポート)

(2) 外国人市民のためのセミナー

外国人市民が地域や日本での生活に馴染めるよう文化や制度などを紹介した。

ア. 運転免許と交通ルール

日 時 7月11日(日) 午後1時30分～午後3時

場 所 八尾市生涯学習センター・ミーティングルーム

内 容 日本での運転免許の取得方法や交通ルールについて

講 師 浅田 克子(八尾自動車教習所)

参加人数 14人

イ. 和太鼓体験

大阪府立山本高校の和太鼓クラブとの交流を企画していたが、先方との調整が整わず中止となった。

(3) 多言語による生活支援

ア. 翻訳・通訳等

府や市などの官公庁及び国際交流団体等からの依頼により各種手続き案内等の翻訳・通訳業務を行った。また、外国人住民等が安心して生活できるよう各種相談に応じた。

内 容	件 数	言 語
翻 訳	3件 (前年度 4件)	英語、中国語、ハングル、ベトナム語、ポルトガル語
通 訳	4件 (前年度 0件)	英語、中国語、ベトナム語
その他	1件 (前年度 1件)	八尾市教育委員会主催の帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業の八尾連絡会に出席した。

イ. 多言語での情報提供

外国人住民が情報に取り残されないよう、国、大阪府、八尾市及び府内各団体からの生活情報より必要な多言語情報を速やかに提供した。また、当センター活動内容を多言語に翻訳し、外国人住民への周知を図った。

(4) 八尾市外国人相談窓口（市からの受託事業）

ア. 相談窓口

八尾市や近隣市の外国人住民が安心して暮らしていくために生活上の様々な困り事について相談に応じ、また行政からの情報をやさしい日本語や多言語で提供した。また、サテライト窓口を（特活）トッカビに委託し連携を図るとともに外国人住民の利用の便宜を考慮し、SNSでの相談対応や新型コロナワクチン接種説明会等を行い幅広く対応した。

期 間 4月1日（木）～3月31日（水）

相談件数 基幹窓口 341件（前年度 206件）

サテライト窓口 2235件（前年度 2108件）

	対応言語	曜 日	と ころ	時 間
基幹窓口	ベトナム語	火・木・金・日(第1・第3)	当センター	午前9時～ 午後5時
	中国語	水・木・日		
	英語	水・木・日		
	タイ語	日		
サテラ イト窓口	中国語	月・火・水・金	桂人権 コミュニティ センター	
	韓国・朝鮮語	水		
	ベトナム語	月・火・水・木・金	安中人権 コミュニティ センター	

イ. 説明会等

① 新型コロナワクチン接種説明会

日 時 6月27日(日) 午前10時～午前11時30分
場 所 八尾市生涯学習センター・視聴覚室
内 容 書類の書き方、予約の取り方などを通訳のサポート付きで説
し、参加者の疑問について応えた。
参加人数 4人

② 弁護士とのオンライン相談会

日 時 7月25日(日) 午後1時30分～午後4時30分
場 所 当センター事務所
内 容 他団体の相談事業を活用し、直接弁護士に相談できる機会を
設け、その通訳サポートを行った。
協力：公益財団法人大阪府国際交流財団
件 数 1件

(5) 外国にルーツをもつ子ども支援

ア. SALA

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月下旬まで、及び2月中旬か
ら3月上旬まで中止】

日 時 通年 日曜日 午後1時～午後5時
場 所 八尾市生涯学習センター・中研修室(2)
内 容 ボランティアと子どもがペアとなり、学校の宿題を中心に文化行
事等も取り入れながら学習支援を行った。
参加人数 23組(前年度 18組)

① 説明会

SALAボランティア“プチ”説明会

日 時 8月22日(日) 午後2時30分～午後3時30分
内 容 SALAの活動紹介と見学
参加人数 1人

② 交流会

・第2回SALA交流会(オンライン開催)

日 時 5月30日(日) 午後2時～午後3時
内 容 SALAに参加している子どもとボランティアが英語学習
と歌を通して交流した。
第1部 英語であそぼ!
講師：村上直子(YICボランティア)
第2部 わくわくピアノ音楽会
講師：辻川康子(YICボランティア)
参加人数 24人(前年度 27人)

- ・外国にルーツをもつ小中学生の交流会「絵の本ひろば」
 - 日 時 12月12日(日) 午後1時～午後4時
 - 場 所 八尾市生涯学習センター・中研修室
 - 内 容 ダンボール面展台をグループで作成し、約250冊の絵本を自由に読んだり、読み聞かせをして交流した。
協力：八尾で絵の本ひろば広げよ会
 - 参加人数 22人

イ. ボランティア研修会

① 第2回SALIA研修会(オンライン開催)

- 日 時 4月25日(日) 午前10時～正午
- 内 容 SALIAの活動で役立つ知識について学び、参加者同士で活動内容やアイデア、意見等を共有した。

第1部

講演「八尾市の外国にルーツをもつ子どもたちの現状」

講師 八尾市人権教育課 職員

第2部

講演「外国にルーツをもつ子どもたちに関わって」

講師 鵜飼 聖子(こどもひろば)

第3部 交流会

参加人数 19人(前年度 15人)

② 第3回SALIA研修会

- 日 時 11月28日(日) 午前10時～正午
- 場 所 八尾市生涯学習センター・中研修室
- 内 容 外国にルーツをもつ大学生(2人)の体験談及び参加者との情報交換
- 講 師 岡田 一濤 / 毛利 渚(YICボランティア)
- 参加人数 16人(前年度 15人)

ウ. 外国にルーツをもつ親子のためのプレスクール2022

- 日 時 第1回 3月19日(土) 午後2時～午後3時30分
- 第2回 3月26日(土) 午後2時～午後3時30分
- 場 所 八尾市生涯学習センター・中研修室(2) 小研修室(1)
- 対 象 就学前の外国にルーツをもつ子どもとその保護者
- 内 容 文化や環境、教育方法等の違いにより日本の小学校生活に戸惑い困ることのないよう、小学校入学予定の子どもとその保護者を対象に説明会を行った。

対象	第1回 内容	参加人数	第2回 内容	参加人数
子ども	身体の名前と給食	3人	学校の持ち物と掃除	3人
保護者	学校の1日、学校との連絡、学習教科	4人	持ち物、学校行事、給食と弁当	5人

(6) 八尾市災害時多言語支援センター

ア. 職員研修

日 時	11月17日(水) 午後1時30分～午後4時15分
場 所	当センター事務所
内 容	八尾市災害時多言語支援センター設置時の各班の初動の課題に対する解決案を協議した。
参加人数	7人(当センター職員、八尾市人権政策課職員)

イ. 災害時ボランティア研修会

日 時	2月27日(日) 午後1時30分～午後4時
場 所	八尾市生涯学習センター・中研修室(2)
内 容	熊本地震の外国人被災者から当時の体験を聴講し、被災時の課題と災害時ボランティアの役割を共有した。また、八尾市災害時多言語支援センターでの翻訳活動の演習を行った。
講 師	大久保 雅由(城陽市国際交流協会)
参加人数	7人

5. 国際交流団体等への支援事業

多文化共生社会を推進するため、市民や団体等の自主的な活動に対して支援を行う。また、他団体の行う事業に参加し、連携を図る。

(1) 市内国際交流団体等に対する支援及び協力

ア. 通訳・翻訳

実績なし(前年度 実績なし)

イ. 後 援

件 数	3件(前年度 2件)
内 容	・第21回2021多民族共生人権研究集会(同実行委員会) ・第31回八尾国際交流野遊祭(同実行委員会)※開催中止 ・全米青少年美術コンテスト2022八尾地区選考会 (八尾市姉妹都市提携協会)

(2) 国際交流イベントへの参加

ひゅーまんフェスタ2021(同実行委員会)

日 時	12月10日(金) 午前11時～午後4時 12月11日(土) 午前10時～午後4時
場 所	八尾市生涯学習センター
内 容	「Y I C釣り堀～世界の“あいさつ”いくつ釣れるかな?～」 魚釣りで世界のあいさつを紹介するとともに当センターの活動を 紹介した。
参加人数	188人(前年度 120人)

(3) 他団体との連携

ア. 大阪経済法科大学との連携

① インターンシップ生の受入れ

日 程 第1回 8月、9月の10日間
第2回 2月、3月の10日間
受入人数 各2人

② 5日間業界横断プログラム

当センターの法人組織・運営や事業活動について紹介した。

第1回

日 時 9月10日(金) 午後1時30分～午後2時30分
場 所 八尾市生涯学習センター・中研修室(2)
対 象 1・2年生 12人

第2回(オンライン開催)

日 時 3月8日(火) 午後1時～午後2時30分
対 象 1・2年生 11人

イ. 外国人住民のための仕事を知る、会社と出会うマッチング交流会(新規事業)

日 時 3月27日(日) 午後1時～午後4時30分
場 所 八尾市生涯学習センター・大研修室、視聴覚室
内 容 外国人住民が地域の企業を知り、また、企業が外国人雇用について知る機会を設け、相互の交流を図った。

第1部・日本語研修「仕事に必要な日本語を知ろう！」

講師:速水 はるみ([一財]日本国際協力センター)

・セミナー「外国人を雇用するときを知っておくべきポイント/日本で働く外国人住民の声」

講師:田村 太郎([一財]ダイバーシティ研究所)

第2部 外国人住民と企業とのマッチング交流会

参加企業 4社
参加人数 10人

ウ. 外国人住民等との連携

地域の多文化共生の実情と課題を探るため、外国人コミュニティ等への聞き取りを企画していたが、新型コロナウイルス感染症の状況下、円滑な進行が難しく時期を見送ることとした。

6. 国際交流に関する情報収集及び広報事業

当国際交流センターの活動を幅広く紹介し、関心を高めてもらえるよう各種媒体を用い広域に発信する。

(1) 広報

ア. 情報の発信

① YICだより!の発行

発行回数 12回(前年度12回)
配布先 当センター関係者及びボランティア、市内公共施設、市内各学校、国際交流団体等

② ホームページとFacebook

当センターの事業案内や新型コロナウイルス感染症等、生活情報を多言語で掲載し発信した。その他、ボランティア募集や事業案内、経営状況等、市民等、広域への情報提供に努めた。

Facebookをリニューアルし、情報の充実を図り発信した。

③ Y I Cボランティア活動パンフレット作成

当センターのボランティア活動に興味を抱いて活動に参加してもらえるよう、地域イベントや大学等で配布するPRパンフレットを作成した。

イ. 近隣大学の留学生への活動紹介

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う制限がある中、対面でのPRが可能な近隣大学を訪問して留学生に当センターの事業活動を紹介し、事業への参加を促した。

大阪経済法科大学

日 時	4月7日(水)	午前9時～午後2時30分
場 所	各クラスを巡回	
対 象	1学年の留学生	